記入例　令和8年1月1日までに取得して、これまで申告されていない資産を全て記入してください。

第二十六号様式別表一（提出用）

令和8年度

種類別明細書（増加資産・全資産用）

※所有者コード	所有者名	枚のうち　枚目
	水俣市株式会社	

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価額(イ)	耐用年数	減価残存率(ロ)	価額(ハ)	※課税標準の特例 率	コード	※課税標準額	増加事由	摘要
01	1		舗装路面（アスファルト）	1	5	3	10	4,000,000	10	0.					(1) 2 3. 4	申告もれ
02	2		太陽光発電設備（20Kw）	1	5	6	10	5,000,000	17	0.					(1) 2 3. 4	
03	6		応接セット	1	5	6	9	250,000	5	0.					(1) 2 3. 4	
04	6		エアコン	1	5	6	9	150,000	6	0.					(1) 2 3. 4	
05	6		パソコン	1	5	6	8	200,000	4	0.					(1) 2 3. 4	
06										0.					1. 2 3. 4	
07										0.					1. 2 3. 4	
08										0.					1. 2 3. 4	
09															1. 2 3. 4	
10															1. 2 3. 4	
11															1. 2 3. 4	
12															1. 2 3. 4	
13															1. 2 3. 4	
14															1. 2 3. 4	
15										0.					1. 2 3. 4	
16										0.					1. 2 3. 4	
17										0.					1. 2 3. 4	
18										0.					1. 2 3. 4	
19										0.					1. 2 3. 4	
20										0.					1. 2 3. 4	
			小計					9,600,000								

【資産の種類】
数字で記入してください。
1　構築物
2　機械及び装置
3　船舶
4　航空機
5　車両及び運搬具
6　工具、器具及び備品

【資産の名称等】
資産の名称、規格等を記入してください。
※太陽光発電設備等を取得した場合は、発電出力数を記入してください。

【取得年月】
資産を取得した年号及び年月を記入してください。
年号　大正‥‥2
　　昭和‥‥3
　　平成‥‥4
　　令和‥‥5

【取得価額】
資産を取得するために、通常支出すべき金額（資産の取引運賃、荷役費、運送保険料、購入手数料、据付費等、該当償却資産を事業の用に供するために直接要した費用を含む）をいいます。
※圧縮記帳、下取り金額を差し引いた額は認められません。

【耐用年数】
耐用年数を記入してください。

【価額・課税標準額】
原則記入不要ですが、電算処理による独自様式で申告される場合は記入してください。

【増加事由】
該当する増減理由の番号を○で囲んでください。
1　新品取得
2　中古品取得
3　移動による受け入れ
4　その他

【摘要】
①　昨年度の申告漏もれ資産である場合は「申告もれ」と記入してください。

②特例に該当する資産の場合は適用される条項を記入してください。